

仏像の世界に触れて

仏像にあまりなじみがないという方も多いのではないだろうか。
 仏像といえば京都や奈良のイメージが強いですが、有田市にも古くは平安時代に制作されたとみられるものなど、貴重な仏像が多く保存されています。
 そこで今回高野山開創1200年を記念し、それらの仏像を集めた特別展を開催します。
 有田の仏像は、この地に深く根ざし、そして有田に住む人々を見守っています。
 そこからは仏像を大切に守ってきた人々の存在も感じさせてくれます。
 仏像と人との交わりや、その姿に込められた意味など、仏像の世界に触れてみましょう。



仏像と人との交わり

仏像はなじみ深いようで、遠い存在。日々仏像と関わっているお寺の住職さんはそのような気持ちで仏像と向き合っているのでしょうか。

- 得生寺の阿彌陀如来立像はいつごろつくられたものですか？
- 室町時代に制作されたといわれています。私はこの寺の39代目として、守っていく使命があると感じています。
- そしてお参りしてくださる人たちも仏像を維持するために協力してくれています。お寺と、まわりの人々とともに、これからも仏像は守られていくのだと思います。
- 日々の仏像の手入れはどのようにされているのですか？
- 金箔が貼ってあるので、拭いたりはずせず、ほこりをそっと払いま
- 毎日の決まり事はありますか？
- 毎朝仏様にごはんとお水を供えています。その時は手を合わせ、無心になって仏様と向き合います。



得生寺 住職 伊藤光碩



どちらがう？ 色んな姿の仏像

仏像といってもその姿は様々。その意味を知れば、仏様の思いを身近に感じられるかもしれません。



大日如来座像 (安養寺)

大日如来は、弘法大師空海が日本に伝えた密教で生まれた如来様で、宇宙の中心にいて、絶対的な力を持つと考えられています。1200年前、有田に空海の宗派が伝わっていたことを私たちに教えてください。



阿彌陀如来立像 (得生寺)

阿彌陀様は現世の私たちの心を救済することにも、亡くなった後、極楽の世界に連れて行ってくださる仏様だと言われています。阿彌陀如来は座っている姿が多いのですが、この仏像は立っています。これは私たち人間を救済するために立ち上がっていると考えられています。優しい思いが伝わってきますね。

仏様の姿のうつりかわり



郷土資料館 学芸員 西貞弘 先生
 仏教や仏像について「何か古くさいもの」と思う人がいるかもしれませんが、

しかし、お釈迦様の教えは、この世の中のすべてのことには原因があると説いています。すなわち、非常に合理的で科学的な教えです。その教えを人々が心に深く刻むために、仏様を拝むのです。
 仏様の姿も時代によって変化します。空海が開いた真言宗では大日如来という仏様が大切にされました。やがて極楽浄土に憧れるようになると阿彌陀様が好まれ、その後さらに自分たちを救うためにやってきてほしいと思うようになると、立ち姿の阿彌陀様が拝まれました。このように時代によって仏様の姿も変わります。
 今回市指定文化財の仏像を一堂に展示します。有田地域の長い歴史を仏様の姿を通して見つけ直してみたいかがでしょうか。

長い歴史の中で、仏像は多くの人たちによって大切に守られてきました。時代が変わっても、仏像に寄せる人々の祈りや思いは同じ。
 この機会に仏像をじっくり見つけ、仏像世界の豊かさを感じてください。

高野山開創1200年記念特別展

『ありだのみ仏たち』
 — 有田市指定文化財から —

有田市の仏像について知識を深めてみませんか。

また、記念講演も行いますので、ぜひご参加ください。

開催期間 / 9月19日(土) ~ 11月1日(日)

午後9時30分 ~ 午後5時

※入場は午後4時まで

会場 / 郷土資料館 (文化福祉センター内)

※入場無料

記念講演

開催日・内容・講師

9月23日(水・祝) 『有田のみ仏を知ろう』

有田市文化協会美術工芸部長 成川満氏

10月3日(土)

『有田川下流域の仏像と地域史』
 和歌山県立博物館主査学芸員 大河内智之氏

10月10日(土)

『有田地域の仏教事情』
 有田市郷土資料館学芸員 寺西貞弘氏

10月17日(土)

『田満寺出土銅造十一面観音懸仏が語るもの』
 有田市郷土資料館学芸員 吉田朋史氏

時間 / 午後1時30分

会場 / 文化福祉センター

3階大会議室

※入場無料

※申し込み不要

郷土資料館の臨時休館のお知らせ

臨時休館日
 9月9日(水) ~ 9月18日(金)
 11月2日(月) ~ 11月9日(月)

※火曜日は通常休館日

問 郷土資料館
 Tel 82-3222-1

ぜひお越しください。

